

豊岡市立弘道小学校 NO.11

学校だより

【学校教育目標】「考え つながり 学び続ける子」

弘道小学校ブログ<http://koudoues.blog.fc2.com>

週1~2回更新中。
ぜひご覧下さい。



文責 内海忠裕

令和6年12月23日

ゆるやかに伸びていく子ども達

2学期も子ども達の伸びていく姿をたくさん見る事ができました。毎日の授業でも、様々な行事でも、地域の方との触れ合いの場でも、子ども達は確実に伸びてきています。

子どもの健やかな成長には、様々な大人との出会いが不可欠です。子どもを守る会のボランティアさん、九九の練習サポートや花壇の手入れなどをしてくださっている学校支援ボランティアさん、「心に栄養を」と読み聞かせをしてくださる図書ボランティアさん、生活科や総合的な学習の時間の学習に力を貸してくださる地域の皆さん、弘道わくわくクラブで楽しい時間を提供してくださっている指導者の皆さん……。多くの皆さんが子ども達に関わり、ゆるやかな成長を促してくださっています。

子ども達は、こうした関わりやつながりの中で、生き方を学び、社会を知り、自ら考えを創る存在へと成長していきます。複雑で予測困難で、急激な変化が起きうる社会であるからこそ、様々な立場の大人が、子どもの育ちに関わる事が欠かせません。

今学期も本校教育に大きなご支援とご協力をいただきましたこと、心から感謝申し上げます。ありがとうございました。よいお年をお迎えください。



↑ 落語講座 (3~6年)



↑ ヴィッセル神戸サッカー教室 (6年)

【良い声が届いています~毎月22日は家族ふれあいの日~】

11月22日は家族ふれあいの日でした。学校には素敵なコメントが届いています。皆さんのご家庭ではどうでしたか？

○ふれあいの日だから宿題ないー！やったー！と喜んでいましたが、すぐに手にとるゲームはせずに家族で遊んだり、たくさん話をしたり、本人がよくわかっていて、感心しました！

○日頃から保護者が心がけないといけないと気づきました！

○ノーメディアでも、遊びは無限大にあるし、楽しい時間を十分過ごせると感じま

した。

- 次、何する？と聞いて終わったら次々と手伝いしてくれました。
 - テレビや動画を観ているよりも、家族と話したり一緒にオセロをしたりして、より有意義な時間の使い方ができていたのではないかと思います。
 - 普段より本がたくさん読めて嬉しそうでした。
 - 1人ではできないことでも、家族と一緒に取り組むと、どんなことでも楽しく取り組めるので、いいですね。
 - 前月と比べてみると、兄妹それぞれでお気に入りのボードゲームができ、勝負しよう！と子どもから積極的に誘ってくるようになった。
そして、前月に勝負した時よりも子ども達のレベルが上がっており、大人が負けることもあった。本人達が主体になって取り組んでいた。
 - 子どもとキャッチボールしたり、かるたをしたりして過ごしました。かるたにはいろいろな種類があり、中でも「ダジャレかるた」は特に面白かったです。ダジャレを言いながら読み札を読むのですが、ルールとして真剣な表情で読み手側は読まないといけないし、取る側も笑わずに取るということが難しかったのではないかと思います。小さな妹や弟たちとも遊べて、兄弟みんなで楽しめたと思います。
 - 家族で笑いながら食事をできて楽しかったです。その日の学校で落語を見たことを話してくれました。
- ※今後も毎月22日に取組を進めます。ご家庭での様子をお知らせください。



↑図書委員による読み聞かせ

～生活リズムをくずさないようにしましょう～

「規則正しい睡眠」「規則正しい食事」「メディアを減らし、運動や読書を」

冬休みは、各ご家庭で保護者が指導したり、子ども自身が決めたりして、1日の予定やスケジュールを立て、実践することとなります。子どもが自分で選んだり決めたりやり遂げたりする力（非認知能力）を、各ご家庭で高めてください。

いつも、長期休業明けの学期はじめには、「なんとなくだるい。」「やる気が出ない。」「集中や切り替えが難しい。」

などの状態の子どもたちが多くいます。学期はじめはスロースタートで丁寧に関わりますが、睡眠や食事などの家庭での生活習慣が乱れていると、そのギャップが子どもにとって大きな負担となります。

年末年始を挟みますので、ご家族でゆっくりとした時間を過ごしていただきたいと思います。あわせて、基本となる生活習慣につきましては、保護者の責任のもと、大きく乱れることがないようにご指導ください。



↑スポーツイベント

～良い3学期のスタートのために～

- 毎日同じ時刻に起きて同じ時刻に寝る。土日でもできるだけ同じに。
- ゲームや動画視聴等メディアの使用は、1日2時間まで。できれば1時間以内に。
- メディアに依存しないように、読書や創作活動、運動、自然体験など五感で刺激を受ける活動をしましょう。（積極的に「家族ふれあいの日」に取り組みましょう）